

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター さくらんぼ園		
○保護者評価実施期間	2025年1月9日		2025年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年1月9日		2025年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しく活動できるスペースが十分確保されている。	子ども達が安全で快適に過ごせるように、部屋をきれいに保つとともに、大型遊具がない中で、コンパネでサーキットを作り自転車等で走れるように工夫するなど、子ども達が楽しく遊べる環境整備を行っている。	園庭整備の一環として、大型遊具の設置を計画している。
2	子どもの健康や発達状況を保護者と共通理解し、共感的に面談や子育てに関する助言等の支援を行っている。	毎日の連絡ノートのやり取りやグループ懇談等で共通理解を深めるとともに、保護者からの相談に逐一対応している。	対面できない送迎児童の保護者とも、電話連絡や連絡ノートを工夫することにより、子どもの状況を共通理解できるように取り組んでいく。
3	子ども達が通所に安心感をもって、楽しみにしてくれていて、保護者も満足してくれている。	子ども達が日常生活における基本動作等を習得するとともに、季節の伝統行事等の本物の体験を集団生活に適應して楽しめるよう支援を工夫して実施している。また、家族の支援を大切にしている。	職員の専門性を高めることにより、より良い療育を行うとともに、保護者とともに学び、育ちあう支援をめざす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の保育所等との交流や地域住民との交流が不十分である。	コロナ禍により交流する機会を差し控えていたが、本年1月には他の保育所園児と一緒に人形劇を鑑賞する機会を設定した。	今後、他の保育所や児童発達支援センターの子どもとの交流や、地域住民と交流できる機会を考えていく。
2	みかん収穫時に勤務できない職員や、職員が急に休んだ際の人員体制の確保に苦労している。	もう少し余裕のある人員体制を整備するべく、求人を出しているが、応募がなく充足していない。	引き続き、職員の確保にできる限り取り組んでいく。
3			